

TEC-KC ケーブルをご使用の前に

1. 本製品は、システムでの開発、評価での使用を想定したものです。また、国内の使用に際し、電気用品安全法及び電磁波障害対策の適用は受けておりません。開発および評価用の延長ケーブルとしてご使用下さい。
2. TEC-KC ケーブルは振動および衝撃環境にはご使用になれません。
3. TEC-KC ケーブル先端に装着されているプラグのコンタクトピンは細く曲がりやすいので、クッション材を取り除く際はご注意ください。
4. コネクタ本体と嵌合する際は必ずコンタクトピンに曲がり等がないことをご確認ください。
5. ターゲット基板に実装されたコネクタ本体と TEC-KC ケーブルに取り付けられたソケットを挿抜する際は、ストレスによりコネクタ本体のコンタクトピンの曲がりや抜けが発生する恐れがありますので、垂直方向に挿抜するように指でコネクタ本体を押さえ行ってください。ガイド付きタイプの製品と組み合わせてご使用頂く事でピンの曲がり防止出来ますので、以下の組合せでご使用になる事をお奨め致します。
推奨組合せ例：
コネクタ本体が TQPACK の場合、TQPACK と TQSOCKET ~ W、G
コネクタ本体が NQPACK の場合、NQPACK と YQPACK と YQ-GUIDE
6. TEC-KC ケーブルはターゲット側にて信号確認が出来るよう、チェックピンアダプタが標準で添付されています。基板の周辺はコネクタレス仕様のスルーホールのみです。コネクタを取り付けてご使用になる際は、以下のコネクタを推奨します。
推奨コネクタ：日本コネクト工業製 1.78mm ピッチコネクタ
オスタイプ（プラグ）：ISS シリーズ
メスタイプ（ソケット）：SGST シリーズ
7. TEC-KC ケーブルにはグラウンド線を添付しております。ご必要時グラウンドに接続してください。グラウンドに落さない場合「信号のなまり」等の現象が発生する恐れがあります。
8. TEC-KC ケーブルは RoHS 対応製品です。
9. ケーブルは引っ張ったり、捻ったり、ストレスをかけた状態で使用しますと断線する恐れがありますので、ご注意下さい。

